

東備西播定住自立圏共生ビジョン事業 KPI 進捗状況一覧表 【令和2年度～令和6年度（令和3年度）】

※共生ビジョン懇談会の意見を踏まえ、一部コメントが修正されています。

「自然と歴史につつまれた、
笑顔あふれる文化交流都市圏」

目 標	目標指標	現状値 H30	R2	R3	目標値 R6	達成率
地域経済を活性化させ、分権型社会にふさわしい安定した社会空間を創出する。	圏域人口	97,060人	92,088人	90,429人	90,510人	99.9%
	新規誘致事業者件数	0件	2件	1件	5件	20.0%
圏域からの人口流出を防止し、都市部から圏域への人の流れを創出する。	東京都・大阪府からの転入者数	200人	241人	207人	300人	69.0%
	東京都・大阪府への転出者数	352人	359人	333人	300人	111.0%

資料3

1 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

施 策	事 業 名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域医療の連携	医療連携研究会事業	講演会参加者数	55人	89人	161人	100人	161.0%	2市1町の医療従事者を対象とした講演会として目標値は妥当と判断している。
	看護職員教育研修支援事業	潜在看護師セミナー及び潜在看護師研修への参加者	1人	5人	5人	5人	100.0%	潜在看護師や新人看護師の研修支援として目標値は妥当と判断している。
	圏域住民診療支援事業	備前市民、上郡町民の赤穂市民病院での出産件数	0件	0件	0件	20件	0%	赤穂市民病院において分娩休止中の間は事業実施不可能である。

イ 教育

施 策	事 業 名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
生涯学習の推進	日本遺産を活かした地域の魅力向上事業	講演会等の参加者数	0人	0人	42人	150人	28.0%	令和2年度はコロナ禍のため講演会の実施を見送り、普及啓発パンフレットの作成を行った。令和3年度については講演会を開催したが、会場定員の2分の1の人数に限定した。
	図書館相互利用推進事業	登録者数	1,892人	1,984人	2,038人	2,300人	88.6%	目標に向けて順調に推移しており、目標値を概ね達成する見込みである。
	図書館読書活動推進事業	事業参加者数	500人	1,300人	1,300人	500人	260.0%	2市1町及び関西福祉大学各図書館合同で各館において「おすすめえほん」の展示を行っている。目標値は概ね達成しており、利用の促進・連携を図る上からも引き続き実施していきたい。
	文化・スポーツ交流事業	事業参加者数	5,139人	452人	1,156人	4,750人	24.3%	引き続き、それぞれの主催イベントにおいて、協力体制を図り、円滑なイベント運営を図る。
	文化・スポーツ施設相互利用促進事業	施設相互利用促進対象施設数	11施設	11施設	11施設	11施設	100%	近隣住民が同等の条件で利用できるよう、引き続き利用促進を図る。
	トップアスリート等招聘事業	事業参加者数	101人	62人	152人	170人	89.4%	コロナ禍においては、オンラインを活用しての講習会をするなど、継続的に事業の推進を図った。
	中学校吹奏楽部交流助成事業	参加中学校数	6校	0校	0校	7校	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため交流事業を中止した。

	圏域中学生体験(社会福祉・看護・教育)プログラム事業	事業参加中学校数	9校	5校	7校	11校	63.6%	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、参加を見合わせる学校もあるが、コロナ禍が終息すれば、参加校は増加すると考える。
	赤穂市生涯学習施設整備事業	文化会館の利用者数	86,033人	23,381人	41,852人	126,000人	33.2%	新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止され、また利用自粛等により利用者が減少している。
	備前市生涯学習施設整備事業	市民センター及び日生市民会館の利用者数	55,132人	21,883人	23,288人	73,000人	31.9%	R2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は激減している。適切な対策を継続しながら「ウィズ・コロナ」と利用促進を並行して注力し、R6年度での目標達成を目指す。
	上郡町スポーツ施設整備事業	町民スポーツセンターの利用者数	121,253人	80,774人	78,564人	150,000人	52.4%	令和3年度は温水プール改修工事等に伴う臨時休館(約3ヶ月)及び新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴うスポーツセンター臨時休館、時短営業、子どもの利用制限、定期活動団体の自主的活動休止に伴う利用者数の減。令和4年度は、コロナによる制限等なしで運営している。
学校給食の広域連携	学校給食連携事業	圏域内献立活用回数	9回	10回	11回	12回	91.7%	目標達成に向けて順調に推移している。今後も給食センター間で情報交換を行いながら、目標達成に向けて取り組んでいく。

ウ 産業振興

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地産地消の推進及び地域ブランドの発掘	地域ブランド発掘事業	地域ブランド化支援件数	2件	1件	2件	2件	100.0%	目標値は達成見込み。圏域にはブランド化に向けた支援を必要とする事業体が一定数存在するものとする。
観光振興の推進	観光振興推進事業	主要観光施設入込数	382千人	179千人	231千人	401千人	57.6%	新型コロナウイルスの影響から入込数はコロナ前の数値を下回っている。コロナ禍において3密を避けるアウトドアレジャーに人気を集まっていることもあり、今年度から東備西播エリアの自然の魅力発信に務め、観光入込数の回復に繋げていきたい。
鳥獣害防止総合対策	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣駆除頭数	3,030頭	2,896頭	2,689頭	2,600頭	103.4%	駆除頭数はR1年度をピークに減少傾向にあり、要因としては、これまでの駆除の成果により生息数が減少していることが考えられる。また、高齢化する駆除班の体制を維持しながらの人材育成も必要になる。R6年度の目標値を達成できるよう継続的な取り組みが必要と考える。
企業誘致の推進	企業誘致促進事業	新規誘致事業者件数	0件	2件	1件	5件	20.0%	製造業以外にも、情報通信や研究所、サテライトオフィスといったIT企業等の誘致活動に取り組むこととした。しかし、コロナ禍による行動制限によりオンラインでの誘致活動にとどまったことに加え、首都圏から地方へのサテライトオフィスの進出からテレワークの普及へとフェーズが移行していることからサテライトオフィスのニーズが低調となっている。

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域公共交通ネットワークの構築	圏域バス運行事業	圏域バスの乗車人数	10,391人	9,431人	8,688人	12,400人	70.1%	新型コロナウイルス感染症の影響によって、不要不急の移動を控え必要最小限の外出にとどめたことにより、利用者が減少したものとする。
	JR利便性向上事業	圏域内におけるJR駅の乗車人数	11,090人/日	8,420人/日		11,900人/日	70.8%	新型コロナウイルス感染症の影響によって、不要不急の移動を控え必要最小限の外出にとどめたことにより、利用者が減少したものとする。(令和3年度データは、現時点で未公開)

イ ICTインフラ整備

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域情報ネットワークシステムの構築	地域情報活性化事業	ホームページ閲覧者数	29,056人	30,889人	29,092人	32,000人	90.9%	当該ホームページは圏域の住民と行政とを結びつけるツールのひとつとして、広く情報共有・情報発信することを目的としており、この目標達成の指標としてホームページ閲覧者数を用いている。ホームページ開設以降、閲覧者数は初期段階に一定数の伸びがあったものの、近年ほぼ同程度の数字で増減をしていることから、閲覧者は一定程度固定されているものと推察される。

ウ 地域内外の住民との交流・移住促進

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
住民交流	民間イベント等助成事業	民間イベント新規助成決定団体数	4団体	2団体	0団体	5団体	0%	新型コロナウイルス感染症の影響により新たなイベント開催を控える傾向にあるが、引き続きPR等に努め、新規団体の事業参加を促し、圏域内外住民との新たな交流の機会を創出する。
	こどもと学生のふれあい活動支援事業	ふれあい活動参加児童数	267人	0人	91人	350人	26.0%	新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施しているが、今後引き続きPR等に努め、参加人数の増加を図る。
	地域連携フォーラム支援事業	フォーラム参加人数	548人	0人	0人	600人	0%	新型コロナウイルス感染症の影響により2年間開催を中止しているが、今後引き続きPR等に努め、参加人数の増加を図る。
移住の促進	定住相談会開催等事業	定住相談会における相談件数	46件	3件	8件	60件	13.3%	R4では既に大阪と東京で開催された相談会に参加し、63件の相談があった。R5.1.14にも相談会の参加を予定しているため、件数は更に伸びると予想される。コロナ禍を契機として、地方への関心が高まっているように感じられる。
	縁結び事業	カップル成立数	4組	7組	5組	5組	100.0%	R4ではまだ婚活イベントを開催していないためカップル成立数は0であるが、過去の実績では目標値を達成しているため、今後のイベントにおいても同レベルの水準を保持するようイベントの周知、内容のブラッシュアップに努めていきたい。
	定住相談員設置事業	移住促進の事業による圏域外からの移住者数	1件	0件	0件	2件	0%	R2.3はコロナ禍により相談会への参加が制限されていたため、それをきっかけとした移住者は現時点では0であるが、今年度対応した相談者のなかには圏域内への移住を前向きに検討している方も見受けられたため、今後件数は伸びると予想される。

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 圏域内の職員等の交流

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
圏域内の職員等の交流	職員研修事業	研修、交流事業参加者数	69人	5人	6人	82人	7.3%	1 職員研修事業等について、コロナまん延防止の状況を踏まえて対応している。 2 R4実績見込み(66人)を加味すると、中間年において概ね目標値となっている。 3 今後においても現状を維持し、事業を継続する。
	人事労務担当職員研究会(交流)事業							
	専門家招へい事業							